

こうふ町 議会だより

～ 響け ～ 日野川子供太鼓



子供の国保育園 夕涼み会

新体制決まる……………2P～3P

6月定例会……………4P

一般質問……………6P～10P

議会のことをわかりやすくお伝えします

正・副議長、各常任委員 及び議会運営委員決まる

議長挨拶
この度、6月議会において、議員各位の御支持をいただき、再度議長としての責任を担うことになりました。次回改選までの二年間、健康に留意し、己自身を厳しく律して職責を全う致したいと思っております。

現在、全国の各自治体において、深刻な財政運営に苦しみ、町議会のなり手不足が深刻な問題となっており、我が町においても、この様な状況が続いており、町民の皆様に引き継ぎの支えをお願いいたします。

議長 三好 晋也



副議長 阿部 朝親



議長 三好 晋也



阿部 朝親



三輪 英男



長岡 邦一



副委員長
加藤 周二



委員長
川端 登志一

総務経済常任委員会



川端 雄勇



三好 晋也



副委員長
芦立 喜男



委員長
森田 哲也

教育民生常任委員会

副委員長
長岡 邦一

委員長
川端 雄勇

副委員長
川端 登志一

委員長
阿部 朝親

議会運営委員会

森田 哲也 川端 登志一 阿部 朝親

加藤 周二 芦立 喜男 森田 哲也

広報公聴常任委員会

議会選出役職一覧

議席順 ◎委員長 ○副委員長

役職名	議員氏名
議長	三好 晋也
副議長	阿部 朝親
総務経済常任委員会	◎川端登志一 ○加藤周二 長岡邦一 三輪英男 阿部朝親
教育民生常任委員会	◎森田哲也 ○芦立喜男 三好晋也 川端雄勇
広報公聴常任委員会	◎阿部朝親 ○川端登志一 森田哲也 芦立喜男 加藤周二
議会運営委員会	◎川端雄勇 ○長岡邦一 阿部朝親 川端登志一 森田哲也
西部広域行政管理組合議会議員	三好晋也
後期高齢者医療広域連合議会議員	三好晋也
日野町江府町日南町衛生施設組合議会議員	長岡邦一 川端登志一 芦立喜男
日野病院組合議会議員	三好晋也 川端雄勇
監査委員	長岡邦一
議会改革調査特別委員会	◎阿部朝親 ○川端登志一 三好晋也 川端雄勇 長岡邦一 森田哲也 三輪英男 芦立喜男 加藤周二
奥大山農業公社役員	阿部朝親 芦立喜男
消防委員会委員	川端雄勇 森田哲也 芦立喜男 加藤周二
表彰審議会委員	長岡邦一 川端登志一 森田哲也
国民健康保険運営協議会委員	森田哲也
奥大山地区観光施設審議会委員	三輪英男 川端登志一 森田哲也
社会教育委員会委員	三好晋也 森田哲也 芦立喜男
集会所運営審議会委員	川端雄勇 川端登志一 森田哲也
市民農園運営審議会委員	川端雄勇 阿部朝親
介護保険及び地域包括支援センター運営協議会委員	森田哲也
江府町部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする審議会委員	川端雄勇 川端登志一
明德学園理事	三輪英男
民生委員推薦会委員	森田哲也 加藤周二
江府町青少年有害図書審議会委員	森田哲也 芦立喜男
青少年育成江府町民会議	森田哲也
公民館運営審議会委員	三好晋也 森田哲也 芦立喜男
索道事業運営委員会	川端登志一 芦立喜男

6月定例会

一般会計総額

51億123万6千円

補正額 9,198万7千円 増額

主な補正内容

歳出

産業振興費 (農家労働軽減化施設管理事業)(クラウドファンディング分)	2,615万9千円増
DX推進事業費 (デジタル田園都市国家構想推進事業)	1,059万4千円増
観光施設管理事業費 (索道会計繰出金)(圧雪車修繕費)	315万9千円増
林業総務費 (防災・減災のための危険木事前伐採推進事業補助金)	400万円増
集会所費 (人権文化センター建築事業)	1,354万5千円増
地域おこし支援事業費 (協力隊起業支援金)	200万円増



改修が待たれる農家労働軽減支援施設

奥大山スキー場草刈機納入業務契約の締結

1. 取得内容 正逆回転式ハンドガイド草刈機
2. 取得台数 1台
3. 取得金額 一金 6,215,000円
(内消費税及び地方消費税 565,000円)
4. 契約相手
鳥取県米子市流通町158-10
コマツ山陰株式会社 米子支店
支店長 川上 伸一

江府町旧老人福祉センター屋根改修工事契約の締結

1. 契約の目的 江府町旧老人福祉センター屋根改修工事
2. 契約金額 一金 59,180,000円
(内消費税及び地方消費税 5,380,000円)
3. 契約相手
鳥取県米子市大篠津町563-2
株式会社 ビルフィール
代表取締役 宮原 薫

4月臨時会 4月25日開催

補正予算(第1号)

一般会計

歳出の主な内容

総務費 地方創生推進交付金事業費 (移住定住促進住宅等整備事業)	898万4千円
民生費 社会福祉総務費 (物価高騰対策支援事業)	2,764万円
民生費 児童福祉施設費 (保育園らしくない保育園事業)	395万5千円
民生費 母子父子福祉費 (子育て世帯生活支援特別給付金支給事業)	205万円
民生費 予防費 (新型コロナウイルスワクチン接種事業)	1,662万円

一般会計 5,924万9千円増額

予算総額 50億924万9千円



佐川地区住宅整備進捗状況

江府町地域交流拠点施設整備事業基本契約の締結

1. 契約の目的
江府町地域交流拠点施設の整備(設計管理、工事請負)及び約30年間の維持管理運営の総括的な基本契約
2. 契約の金額
一金 260,266,600円
(内消費税及び地方消費税 23,660,600円)
3. 契約の相手方
(代表事業者) 広島県広島市中区袋町4番31号
株式会社合人社計画研究所 代表取締役 福井 滋
(構成事業者) 鳥取県米子市皆生6丁目1番25号
株式会社あおい総合設計 代表取締役 浦川 英敏
(構成事業者) 鳥取県米子市彦名町1847番地1
大松建設株式会社 代表取締役 松浦 啓介
(構成事業者) 鳥取県八頭郡八頭町宮谷200番地2
こおげ建設株式会社 代表取締役 山根 敏樹
(構成事業者) 鳥取県日野郡江府町小江尾651番地5
株式会社かわばた 代表取締役 川端 雄勇

江府町地域交流拠点施設整備事業工事請負契約の締結

1. 契約の目的
江府町地域交流拠点施設の工事請負
2. 契約の金額
一金 208,417,000円
(内消費税及び地方消費税 18,947,000円)
3. 契約の相手方
大松建設・こおげ建設・かわばた特定建設工事共同企業体
(代表企業) 鳥取県米子市彦名町1847番地1
大松建設株式会社 代表取締役 松浦 啓介
(構成企業) 鳥取県八頭郡八頭町宮谷200番地2
こおげ建設株式会社 代表取締役 山根 敏樹
(構成企業) 鳥取県日野郡江府町小江尾651番地5
株式会社かわばた 代表取締役 川端 雄勇

特産品開発で農業振興と健康増進を！



川端 登志一

動画で一般質問

川端議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

ふるさと納税の好調原因は特産品にあり

① 特産品の開発について
質問 ふるさと納税の好調を維持するため特産品の開発は必須ではないか？

町長答弁
 必須ではないと思いますが、結果的にいいものができれば返礼品に使用する考えです。

質問 行政機関も共に汗をかへべきでは？

町長答弁
 町内にまつという方がいれば積極的に応援する気持ちです。

質問 町内法人の特産味噌の生産販売停止の状況把握について承知か？

町長答弁
 承知しているし、本当に寂しく思っています。

質問 影響として大豆減産や鳥獣被害の発生で農業振興の妨げとなるのでは？

町長答弁
 味噌つくりは中止するが大豆は生産を続けるので、影響は少ないと考えます。

質問 町内外の愛好者にとつての「故郷」を失うことになるのではないか？

町長答弁
 まさにその通りだと思います。

質問 多くの江府町ファンを失つことにもなるのではないか？

町長答弁
 味噌のファンはがっかりするが、江府町のファンはなくならないと思います。

質問 さらにはこの産品を活用している飲食業者にも影響すると思うが？

町長答弁
 確かに何らかの影響はあると思います。

② 特産品持続のための提案として

質問 農業公社の冬場の仕事として「味噌」つくりを引き継いではどうか？

町長答弁
 絶対間違いなく行けると思えば踏み切りますが、雰囲気は流されることは



大豆活用食品の例

質問 大豆関連食品を食生活に大に取り入れ健康増進につなげる考えはないか？

町長答弁
 福祉関係の部局や食生活改善推進協議会とも話をして問題提議をしてみたい、また大豆関連食品の製造についても困難との回答はしましたが、農業公社の理事会に、この度は話してみたいと思います。

町民生活に優しい生活支援策について



森田 哲也

動画で一般質問

森田議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

質問 救急車両が自宅に直接来られる救急体制づくりについて

町長答弁
 集落内で道幅が狭く、救急車などの緊急車両が自宅に入れない箇所がある。集落の協力を得ながら解消することは、防災体制の充実にもつながる。助成制度が必要と考えるが。

町長答弁
 道が狭くて、緊急車両が入れないという箇所は承知しているが、一斉に整備することは難しい。用地の無償提供など地元の協力を得られるところから、検討していきたいと思う。

質問 ふるさとに帰しやすい介護支援制度、介護帰省者への支援制度の確立を

町長答弁
 介護帰省者は多いと思うが、諸事情により、だんだん厳しくなってくる。高齢者にとつて身内の直接面会は何よりの励みになる。介護帰省者への支援が必要と思うが。

町長答弁
 介護のために帰省してあられる人は認識しているが、それぞれ家庭によって条件が違い、それを一律に帰省のための制度創設までは踏み込めないと思う。

質問 国の制度で離島地域に交付金が帰省助

町長答弁
 成がある。近年は、介護帰省者も対象にしている。中山間地域も生活困難地域としては、同じ状況と考える。旅費の支援など必要と思うが。

町長答弁
 帰省者の旅費を支援することもあるが、介護や医療については、やはり専門の施設、診療所なりで診てあげる。また、出かける役場をやって支援もしていきたいと思う。

質問 当然、介護、医療については、専門職の対応だが、ふるさとで生活する高齢者は、やはり、身内との触れ合いを何より求めていると思う。そうした方々の支援を考えるべきでは。

町長答弁
 介護などは、できることをやっていく。それが親子、家族なのか。血縁であれば、

避けたいと考えます。

質問 冬季限定商品として「納豆」「豆腐」「味噌漬け」などの大豆活用食品の製造販売や職員による宅配はどうか？

町長答弁
 現在新甘泉という梨づくりを始めたばかりです。これ自体がどうなるかわからないので、多方面に手を広げるのは困難だと考えます。

質問 今、保育園の親が疲れているという話を聞く。日常的な生活をフォローできる保育サービスが必要では。

町長答弁
 「保育園らしくない保育園」のワークショップでは、子どもたちの様子を地域の人、誰もが見に行けたらと意見もある。保育サービス拡充には、配置基準もあるが、子どもの数が減少したときの対応も難しくなる。

質問 今、全国で保育基準の見直し指摘されている。保育定数を見直し増員を図る。さらに、専門職と事務職員の交流を図れば、地域との交流能力の促進職員の融通性が向上し、多様性、応用性が高まるのではと思うが。

町長答弁
 「保育園らしくない保育園」新設で、これが一つの転機になると思っている。保育内容は変わってきているが、伝統的な風土が残って、閉鎖的な感じになっている。今回、施設も新しくなることで、人との交流を促し、よりよい保育内容を子どもに提供したいと思う。



みんなでアイデアを…ワークショップ

竹林対策については待ったなし 江尾の街なんとかせねば



芦立 喜男



芦立議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

竹林対策について

質問 竹の根は地表から非常に浅いところに根を張り、放置竹林が雑木林を侵食していくと大雨時には竹林全体がずり落ちる危険性が高くなるため対策が必要と考えられる。また、この竹を活用できれば尚、良いと思われるが、八頭町（旧郡家町）で



浸食が進む竹林

は粉碎した竹やチップを花御所柿の畑に敷き詰め、三年経過頃から糖度が一度上がったとのことだった。ほか、稲作にも利用し、米の食味値が上がったとのことであった。粉碎機を追加購入して個人へ貸し出し、粉碎した竹を新甘泉栽培や稲作に広く活用してはどうか。さらに、竹粉碎の施設を作り、閑散期には農業公社へ粉碎作業を委託することで雇用につながるのではないか。

町長答弁 一般的に災害の懸念はあるが放置竹林の問題を本町に置き換えた場合、雪による公道へ

の倒竹や里山の荒廃による害獣被害などの被害が大きいと感ずる。森林環境譲与税を活用して竹林整備を進める。破砕機やそれに付随する整備に関しては今後の活用状況を見ながら検討する。

質問 防災の観点からはどうか。

町長答弁 県や中国電力の協力も得て、竹に限らず対処しようと思っているところである。

質問 住宅計画のある旧庁舎跡地横の整備された竹林はどうするの

町長答弁 現在具体的な対策はない。旧庁舎跡を実際に分譲するのするなど、最終的にどのようにするかは最終的に決める必要がある。必要は整備は行ってきたい。

江尾の街の衰退対策について

質問 町民から江尾の街は寂しくなった、何とかせんと良くならんなどの声があり、なぜそう感じるのかアンケートを取ったところ、商店が少なくなった、役場がなくなった、人が集まる場所がない、子どもの遊び場がない、などの意見があった。

現在では、診療所、銀行、郵便局、駅、バス停などから近く、買い物できる場所として「えんちゃん」があり、そこがコミュニティの一部を担っている。しかし、今後店を閉められた場合、多くの高齢者が買い物難民となりコミュニティを失うこととなり、江尾の街でにぎやかに過ごし暮らせる集落にするための考えはあるのか。

町長答弁 「えんちゃん」は個人の事業のため未来永

空き家を活用して人が寄れるところを作りたいと思う。

質問 商店を残す方法として、地域の主婦などが寄り合ってお店を経営し、赤字部分に関しては町が一部を支援する、もしくはクラウドファンディングなどを活用して何とか江尾の街に店舗を残す考えはないか。

町長答弁 空き家を活用して人が寄れるところを作りたいと思う。

日野郡三町超高齢化・少子化・過疎化 待ったなし!!



三輪 英男



三輪議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

日野郡三町超高齢化・少子化・過疎化待ったなしという状況下について

質問 日野郡三町の人口は、1980年から2021年の間で約52.5%減少している。県平均の10.6%減という実績から考えると、約5倍のスピードで人口減少が進んでいる。このままでは30年後には限りなく人口がゼロに近づくと想定される。江府町の直近の人口をみると、平成25年3月末と令和5年3月末時点で、10年間で総人口で760名、世帯数で134世帯が減少している。

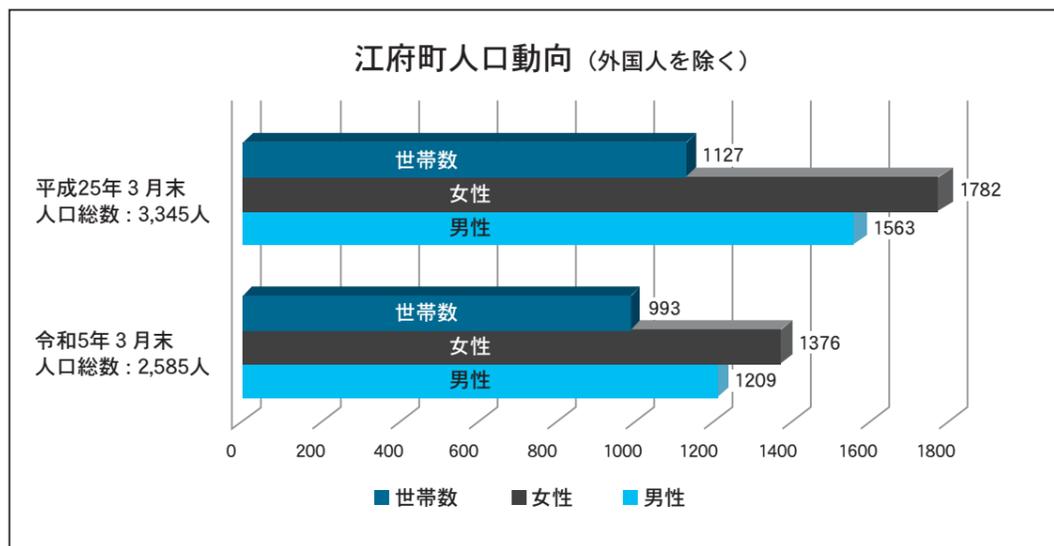
このように、中国山地に抱かれた江府町の超高齢化・少子化・過疎化に直面していることについて、町長は基本的にどのような対策を考えているのか。

町長答弁 人口減少問題は、本町に喫緊の課題であること認識している。就任当初から3000人の楽しい町を作りたいと言ってきたが既に2600人を切っている状況で、非常に厳しい状況であると認識している。

安全・安心・健康に暮らせる町であることが根幹で、もう一つは未来に夢が描ける町であること。子育て支援

の充実や奨学金免除等の教育環境などに取り組んでいるが、その中で特に重点を置いているのが、移住定住の促進である。現在も工事が進行している佐川地区に、住宅と交流拠点、商業施設を整備し直接的な人口増を狙っている。また、旧役場跡地や空き家の活用も考慮している。

水のふるさと奥大山SDGs宣言、奥大山自然塾などの開校も、環境を大切にす取り組みを行っているという情報発信として、人を呼び込むためには非常に重要だと考えている。



江府町の農業・福祉に対する認識は？ 旧明倫小・神奈川交流サロンの今後は？



阿部 朝親



阿部議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

江府町の農業に対する認識は？

質問 今年度の行財政方針には、農業と云う文言がありませんでした。江府町の農業環境は非常に厳しいと認識している。高齢者が疲弊しながら一生懸命農地を守っている。農業を存続させるには、町全体の方向性・行政指導の取り組みも必要と考えるが、町長の農業に対する認識を伺う。

町長答弁 以前の行財政方針は、事細かく網羅されていたが、今年度は、移住定住の促進とDXの推進ということを中心に

している。決してほかの事業をやらないうわけではない。明確に町の方向性を示したと考えていた。江府町は農業だと言われるが、私は江府町の農業は生活の一部であり、農業を守る事が集落を維持する事であり、それが江府町農業の基本であると思っている。高齢化により大変な状況になってきていることは重々承知している。一番は担い手の確保であり、町でも新しい担い手の確保を進めているところである。

江府町の福祉に対する認識は？

質問 農業と同じく行財政方針に福祉という文言がなく、町民からも町長の福祉に関する考え・思いはどのようなかという話が聞かれた。住民は、住み慣れた地域で住み慣れた住まいで安心して暮らせることを一番に願っている。福祉に関する認識、今後どのような取り組みでいかれるかがあるか伺う。

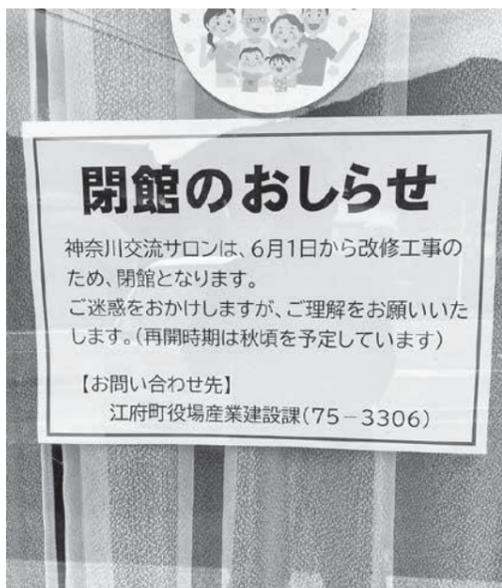
町長答弁 3000人の楽しい町づくりの大前提となるのが、安全安心健康で暮らせる町であり、高齢者の方も安心して健康で過ごせることが基本的な町づくりであると思っている。医療・介護などの専門組織と連携しながら総合健康福祉センターを核とした地域包括ケアシステムを未来にわたり維持していくことが大事だ

旧明倫小の今後・神奈川交流サロンについて

質問 旧明倫小の校舎・体育館は解体の計画であるが、解体後の利用計画はどのようなになっており、いつどのような説明がなされるか。解体後のコミュニケーションスペースについてはどのような検討がなされているか伺う。また、JA神奈川支所はサテライトオフィスとして改修する計画であるが、交流サロンも対

と考えている。象となっているのか。利用者・住民は非常に気にしている。ご説明をいただきたい。

町長答弁 旧明倫小の解体後の計画が固まらず、解体に踏み切れないところである。コミュニケーションスペースについては、えんちゃん神奈川店二階に集会所ができるスペースを作る。神奈川交流サロンについては、関係者・地域住民に説明する段取りをつけているところである。



閉鎖中の神奈川交流サロン

陳情の審査結果

提出のあった陳情は、6月定例議会で審査した結果、下記のとおり決定しました。

受理番号及び受理年月日	件名	提出者	付託先	審議結果
陳情第6号 令和5年5月12日	地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 山口 一樹 江府町職員労働組合 執行委員長 田本 丈一	総務経済 常任委員会	採 択
陳情第7号 令和5年5月15日	国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書	インボイス制度を 考えるフリーランスの会 代表 阿部 伸	総務経済 常任委員会	趣旨採択
陳情第8号 令和5年5月16日	保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 山口 一樹 江府町職員労働組合 執行委員長 田本 丈一	教育民生 常任委員会	採 択
陳情第9号 令和5年5月17日	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情	鳥取県高等学校教職員組合 西部支部 支部長 田中繁 鳥取県教職員組合西部支部 支部長 内田浩文	教育民生 常任委員会	趣旨採択

【お詫びと訂正】

議会だより第201号（8、14ページ）に誤りがありましたので、以下のとおり訂正し、お詫びいたします。

特別会計下水道等事業の柿原水源施設写真について



柿原水源施設（誤）



柿原水源施設（正）

陳情の審査結果（3月定例会提出）について

受理番号及び受理年月日	件名	提出者	付託先	審議結果（誤）	審議結果（正）
陳情第3号 令和5年2月2日	「安保関連3文書」閣議決定の撤回、「敵基地攻撃能力」の保有や防衛費2倍化に反対する意見書の提出を求める陳情書	憲法改悪反対鳥取県共同センター 代表 田中 暁	総務経済 常任委員会	採 択	不採択
陳情第4号 令和5年2月13日	安保関連3文書の閣議決定に抗議し、大軍拡・増税の中止、くらしと福祉に予算をまわすよう求める「意見書」採択を求める陳情	平和・民主主義・豊かな暮らしをめざす鳥取県の会 （鳥取県革新懇） 代表世話人 山内 淳子	総務経済 常任委員会	趣旨採択	不採択

江府町農業委員会委員が決定

本定例会3日目の6月16日。町長より本町農業委員会委員候補の推薦があり、議会はこれらの専任について同意しました。（同意の意思表示方法は1名ずつ起立によります）これは平成29年7月より施行された条例第32号によるもので定数は11名となっています。任期は令和5年7月20日から令和8年7月19日までの3年間です。今後において、区域内農地全体の利用の最適化を推進していただきます。委員の皆さんは次の通りです。（敬称略）



御机 高津 孝司 江尾 本高 善久 佐川 森谷 雄 下蚊屋 大岩 徹 大河原 長尾 保 宮市 松本 良史



杉谷 加藤 直行 貝田 遠藤 功 宮の前 船越 征子 尾之上原 山本 信男 一旦 宇田川 保

議会常任委員会の仕事紹介

江府町議会には3つの常任委員会が設置され、予算や条例などの議案や請願などを部門ごとに分かれて専門的に検討することができ、効率よく、より深い議論を行っています。

議会広報公聴常任委員会では 次のような仕事をしています

議会広報の発行日を決定し、あわせて原稿締切日などを設定します。各記事内容の担当を決め、担当毎に記事を書き、掲載用写真を収集し、校正やレイアウトを検討します。皆様が読みやすく、ご理解いただける紙面づくりに努めています。

また、ホームページの内容にもかかわっています。



意見書の提出

令和5年6月定例会において、国からの森林環境譲与税の譲与基準について見直しを求めるため、意見書を提出しました。

森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書

我が国の温室効果ガスの排出削減や、自然災害の防止等を図るため、森林整備等に必要となる地方財政を安定的に確保する観点から、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律が公布され、森林環境税は令和6年度から課税されるが、森林環境譲与税は令和元年度から譲与が開始されている。

その用途については、間伐などの森林整備、人材育成や担い手の確保、木材利用の推進や普及啓発等に関する費用に充てるとされている。

しかしながら、森林環境譲与税は、総額の50%を私有林人工林面積、30%を人口、20%を林業就業者数に応じて配分・譲与されることから、森林面積が少ないにもかかわらず、人口が多い大都市に対して配分額が多くなり、創設趣意との齟齬が生じている。

また、本来活用すべき森林整備に使われず、その他基金に積み立てられている等の問題も指摘されており、早急な整備を必要とする地方公共団体への適正な配分が行われず、防災上の観点からも森林整備を促進する財源とされた趣旨を損なうことが懸念される。

よって、国においては、森林環境譲与税の創設経緯や目的に鑑み、森林整備をより効果的に推進するため、広大な森林を抱える地方公共団体への配分に重点化する方向で、譲与基準の見直しを速やかに実施することを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年6月16日

鳥取県日野郡江府町議会

(意見書提出先) 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣
総務大臣 財務大臣 農林水産大臣

私のひとこと



池ノ内 加藤 浩美

故郷を感じる江府町

私には故郷がありません。

生まれは茨城県だったと記憶しています。

その後は東京・岡山・浜松・富士・愛知・富山・大阪など、子ども時代に何度も引っ越しをしたので学校名も思い出せず、故郷と言える場所もありません。

初めて江府町に来たのは2010年。

十七夜があまりにも素敵で、生きてきた中で一番感動したお祭りだった事を今でも鮮明に覚えています。

あれよあれよと月日が過ぎ、子どもが3人産まれ、大阪での暮らしに忙しい日々を送る中の突然の旦那からの移住宣言。下の子が1歳、コロナ渦真っ只中の引っ越しは、私にとっても子どもたちにとっても、生涯忘れられない出来事になりました。

住む場所が違えば風習も違う。たくさん親族やたくさん集落、年間行事。まだまだ覚えきれない事もたくさんですが、なんだかんたんで、もうすぐ2年が経とうとしています。忙しい日々は相変わらずですが、江府町に来てから知った事があります。

朝霧の中洗濯物を干しながら、今日は晴れそうと心がウキウキする事。夕日が落ちていく田んぼの地平線に照らされる揺れる稲の色。梅雨になるとカエル

鳴き声が聞こえ、夏にひぐらしが鳴き、春になると鶯が四季を奏でる事。山々が紅葉して目を奪われ運転が危ない帰り道。山間から覗く雲の、何重にも重なる色の交じり合った空と雲。

仕事で疲れた日に、ふと見上げた時の江府町の夜空。なにより、私に故郷が来たこと。

「帰れる場所」があるって本当に素敵な事だと思えます。

そんな故郷「江府町」を大切にしたいと強く思い、そして守らなければ

ならないと強く感じます。「江府町」だからできない事もたくさんあると思います。だから出来る事もたくさんあります。

私にとっては、後者の方がとても多く感じる町です。未来ある子どもたちに、少しでも故郷「江府町」の大切さを伝えていきたいな。と思っ

ています。そしてそんな江府町でドライフラワーカフェを始める予定です。

是非応援よろしくお願



※クラウドファンディングは皆様の支援のおかげで達成致しました。ありがとうございました。



田植えも終わり、ほっとしたのも束の間、除草剤の散布や二回目・三回目の草刈り、中干し等により安堵する事無く秋を迎えようとしており、農家の皆様はお疲れのことと拝察いたします。

今回の広報202号は、6月定例会を主な記事としておりますが、記事の構成や町報発行との兼ね合いから発行が8月となりました。迅速な対応が必要ではあります。ご理解いただきますようお願いいたします。

今回より、広報委員構成が変わりました。新たな気持ちで読みやすい紙面づくりに取り組んでまいりますので、今後ともご支援賜りますよう、よろしくお願いたします。

阿部 朝親

広報公聴常任委員会

- 委員長 阿部 朝親
- 副委員長 川端登志一
- 委員 森田 哲也
- 委員 芦立 喜男

加藤 周二